

問1 自然災害の被害範囲や避難場所などを地図上に示したものを何という？

1. 地域防災計画 2. 防災訓練 3. 避難計画 4. ハザードマップ

問2 湾の入り口が狭いリアス海岸において、地震の際に湾内で高くなりやすく警戒が必要な自然現象を何という？

1. 土石流 2. 津波 3. 液状化 4. 高潮

問3 入り組んだ海岸線が特徴で、津波が押し寄せた際に波が集中し、被害が拡大しやすい地形を何という？

1. リアス海岸 2. 砂浜海岸 3. 扇状地 4. 三角州

問4 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、飛騨山脈の別の呼び名を何という？

1. 中央アルプス 2. 南アルプス 3. 丹沢山地 4. 北アルプス

問5 フィリピン沖から日本列島の南岸に沿って北上する、流れが速い海流を何という？

1. 寒流 2. 千島海流 3. 暖流 4. リマン海流

問6 険しい地形の日本アルプスにおいて、かつて山頂付近を削り取ったとされるものは何という？

1. U字谷 2. 氷河 3. カール 4. モレーン

問7 長野県から流れ出る天竜川の河口付近にある、三角州の代表例として知られる静岡県の市を何という？

1. 浜松市 2. 岡山市 3. 徳島市 4. 新潟市

問8 沿岸部に津波が到達することを防ぐために築かれる、海からの波を食い止める壁状の構造物を何という？

1. 砂防ダム 2. 防潮堤 3. 水門 4. 防波堤

問9 日本アルプスの山々が遮ることで、日本海側に大雪を降らせ、地域による気候の差を生み出す風を何という？

1. 海陸風 2. 季節風 3. フェーン 4. 貿易風

問10 千島列島方面から南下する、水温が低い海流を何という？

1. 北赤道海流 2. 寒流 3. 対馬海流 4. 暖流

問11 フォッサマグナの西側の境界線として知られる、北から南へ走る線状の断層帯を何という？

1. 新発田小出構造線 2. 柏崎千葉構造線 3. 中央構造線 4. 糸魚川静岡構造線

問12 フォッサマグナの内部に位置する、日本の最高峰の火山を何という？

1. 箱根山 2. 富士山 3. 浅間山 4. 白山

問13 夏に親潮の影響で沿岸に発生し、北海道の太平洋側で農作物の冷害の原因となる霧を何という？

1. 寒冷前線 2. 熱帯低気圧 3. 海霧 4. 梅雨前線

問14 入り組んだ海岸線が特徴のリアス海岸の穏やかな湾内で、カキやホタテなどを育てる産業を何という？

1. 養殖業 2. 遠洋漁業 3. 定置網漁 4. 底引き網漁

問15 地震の発生に伴って起こり、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何という？

1. 地殻変動 2. 隆起 3. 高潮 4. 津波

問16 河川の氾濫が発生した場合に、浸水が予測される区域のことを何という？

1. 土砂災害警戒区域 2. 避難勧告地域 3. 火災延焼防止区域 4. 浸水想定区域

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ハザードマップ	ハザードマップは、自然災害が発生した際に被害が想定される範囲や、避難場所、避難経路などを地図上に示したものです。各自治体が過去の災害実績や地形データをもとに作成しており、インターネットや広報を通じて住民に提供されています。自分の住んでいる地域のリスクを把握し、災害への備えを高めるための重要な資料です。
問2	答え 2 津波	津波は海面全体が押し上げられる現象であり、通常の風による波とは異なり、到達すると非常に高い破壊力を持って陸地に押し寄せます。リアス海岸のような湾の入り口が狭い地形では、入り口でせき止められた波が湾内で急激に高くなる性質があり、特に甚大な被害が出る恐れがあります。
問3	答え 1 リアス海岸	海岸線が複雑に入り組んでおり、細長い湾が奥深くまで入り込んでいるのが特徴です。津波がこの狭い湾内に入ると、地形的な特性から波が狭い場所に押し込められ、波高が急激に上昇する「津波増幅現象」が起こります。そのため、同じ津波でも、外洋に面した平坦な海岸よりも、リアス海岸の奥地の方が深刻な被害を受ける傾向があります。
問4	答え 4 北アルプス	日本アルプスは、北部の「飛騨山脈（北アルプス）」、中部の「木曾山脈（中央アルプス）」、南部の「赤石山脈（南アルプス）」という3つの山脈で構成されています。それぞれ3000メートル級の高峰が連なり、日本を代表する山岳景観を形成しています。
問5	答え 3 暖流	黒潮は非常に勢いが強く、温かい水を運ぶ暖流の代表です。この暖流は、日本列島の南側に沿って北上しながら、周辺の気候や生態系に大きな影響を与えています。水温が高いため、多くの魚が回遊し、豊かな海を作り出しています。
問6	答え 2 氷河	氷河は長期間かけて山を削り取り、カールと呼ばれる円状の窪地や、鋭い尾根を作り出しました。日本アルプスで見られるこれらの地形は、当時の寒冷な気候環境を物語る貴重な遺産です。
問7	答え 1 浜松市	天竜川が運んできた土砂が、河口付近で堆積して形成された三角州が浜松市周辺には広がっています。三角州は平坦で水が得やすいため、古くから稲作を中心とした農業の適地として利用されてきました。
問8	答え 2 防潮堤	防潮堤は、海からの浸水を防ぐための壁状の構造物です。津波の勢いを弱め、到達する時間を遅らせる効果を期待して設置されます。近年では、より高い津波にも耐えられるよう、二重構造にしたり、防潮林と組み合わせたりする工夫も行われています。
問9	答え 2 季節風	冬になると、大陸から吹いてくる寒く湿った季節風が日本アルプスの山々にぶつかり、日本海側で雪となって降り注ぎます。一方で、山を越えた太平洋側には乾燥した風が吹き込むため、冬の天候が非常に大きく異なります。
問10	答え 2 寒流	親潮のように、高緯度から低緯度へ向かって流れる海流を寒流と呼びます。寒流は水温が低だけでなく、酸素や栄養分が豊富に含まれているため、プランクトンが大量に発生し、魚が集まる豊かな漁場を作り出す特徴があります。
問11	答え 4 糸魚川静岡構造線	糸魚川静岡構造線（いといがわしずおかこうぞうせん）は、フォッサマグナの西側の境界線を指します。この線は新潟県の糸魚川市から静岡県まで伸びており、地質が大きく異なる地域を分かつ境界線となっています。
問12	答え 2 富士山	富士山は日本で最も高い山であり、その美しい円錐状の形から日本の象徴として知られています。地質学的には活火山に分類され、フォッサマグナの構造と関連して形成された山々の中で最大の規模を誇ります。
問13	答え 3 海霧	冷たい海の上で冷やされた空気が霧となり、沿岸へ流れ込む現象を海霧と呼びます。この霧が長時間かかると、日照不足を引き起こし、北海道の太平洋側の農作物の成長を妨げ、冷害の原因となることがあります。
問14	答え 1 養殖業	この穏やかな環境と、山から栄養分が流れ込みやすい地形条件を生かし、カキ、ホタテ、ワカメなどの養殖業が盛んに行われています。また、水深が深く海水が循環しやすい場所も多いため、魚介類の育成に適しています。
問15	答え 4 津波	津波は、海底で発生した地震によって地殻が大きく動き、それに伴って海面が押し上げられたり引き込まれたりすることで発生します。この波は時速数百キロメートルもの速さで広がり、海岸に到達すると高さが急激に増して陸地へ浸水します。通常の波と異なり、海全体が動くため非常に破壊力大きいのが特徴です。
問16	答え 4 浸水想定区域	浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に、どれくらいの深さまで水が浸かる可能性があるかをシミュレーションして示した範囲です。ハザードマップには、浸水深（水がどれくらいの深さになるか）や浸水が継続する時間などが記載されています。この区域を知ることによって、大雨の際の避難行動を早める判断に役立てることが出来ます。